

▼飯綱で樹木伐採中の男性死亡

24日午前9時ごろ、上水内郡飯綱町古町の県道で、雪の重みで倒れかかった木が倒れ、伐採しようとしていた同郡信濃町柏原の林業小林邦夫さん(57)が下敷きになった。小林さんは胸などを強く打ち、長野市内の病院に運ばれたが間もなく死亡した。長野中央署によると、木は太さ約25センチで、小林さんはほかの3人と作業をしていた。伐採作業は県の発注で、小林さんは長野市の下請け業者が臨時雇った従業員だった。